

公明党京都市会議員団は今般上程されております令和 2 年度補正予算案について賛成の立場を表明し、討論を行います。

討論に先立ち一言申し上げます。今回の新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになられました方々に対しまして、心より哀悼の意を表し、お悔やみ申し上げます。

さらには今現在病氣と闘っておられる方々に対し、一日も早い回復を心よりお祈りいたします。そして感染拡大防止に向け、自らの感染の危険も顧みず、昼夜を分かたず市民のためにご努力頂いている医療従事者をはじめ保育園、児童館、福祉施設等の関係者、京都市職員の皆様心よりの敬意と感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

さて新型コロナウイルス感染症が世界的に拡がる中、4月16日に全国で「緊急事態宣言」が発令され、京都市を含む京都府は特に重点的な対策を進める「特定警戒都道府県」に位置付けられました。京都市においても、市民の暮らしが脅かされる予断を許さない状況であり、市民目線からは見通しの立たない不安な思いで生活しているのが現状であります。今まで以上のスピード感ある対応を必要としております。そのような中での今回の補正予算案は政府の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」を活用し、「感染拡大防止対策」と「市民生活・中小企業等の下支え・支援」を行うものであり、付帯決議を重く受け止め、迅速な議決、予算執行が望みます。

今回の補正予算案には先般異例ではありましたが、山口那津男代表が安倍総理に直接談判し、所得制限なしの一律一人10万円の特別定額給付金を英断されました事は大いに評価できるものであり、国会においても全会一致で可決されると聞いております。何よりもスピード感を持って対応頂くことを望むものです。さらにはこの特別定額給付金については申請に伴う給付との事であり、是非とも京都市として基金等の受け皿を設置し、今後のコロナ支援策のための基盤を整える事を提案致します。

また中小企業等緊急支援補助金については新たに5億円を増額し10億円とするなど、迅速な対応を評価すると共に、今後増えるであろう市民からの相談については丁寧に対応頂きたい事を要望しておきます。

さて私ども公明党京都市会議員団としてもこれまでに市民から寄せられる多くのお声を受け止め、4月17日に門川市長に対し、経済・生活支援対策・医療衛生体制・相談窓口の体制強化・情報提供の在り方・職員体制・教育子育て支援・予算執行の精査見直しの7分野24項目について緊急要望を提出いたしました。主な要望としては発熱などの風邪症状における診療体制の整備や緊急小口資金等における相談受付業務の体制強化、本市独自の支援策の充実、PCR検査体制の拡充やマスクはもちろんの事、消毒液の個人商店などへの配布。また相談窓口の受電体制の強化やDV虐待、休校期間中及び休校開けにおけるSNS相談などの体制整備、高齢者などに対し市民新聞号外などによる紙媒体での一覧表の配布などです。今回の補正予算にはそうした事項についても一定盛り込まれており、評価するものです。まずは速やかに予算執行を行い、併せて今年度当初予算において執行予定であった事業についても見直しを行い、支援策の充実に努めて頂きたく存じます。併せて今回の臨時交付金については休業協力にも活用できるよう認められました。門川市長におかれては西脇知事としっかりと連携し事業者が持ちこたえることが出来るよう積極的に活用して頂きたい事を要請致します。私共公明党京都市会議員団としてもネットワーク政党の強みを生かし第2弾、第3弾の経済・生活支援を国に対して要望し、京都市において誰一人取り残さないとの固い決意で、市長共々取組んでまいることをお誓い申し上げ賛成討論と致します。